

令和4年度 秋葉区組織目標

組織名	秋葉区	部長	区長 長崎 忍
組織の目的・方向性	秋葉区では、区ビジョンまちづくり計画や地域福祉推進計画に基づいて、時代の潮流を踏まえつつ、区の将来像である「花と緑に囲まれた、笑顔咲きそろう、にぎわいのあるまち」を実現するため、秋葉区の特徴を生かしたまちづくりを推進します。		

秋葉区組織目標

秋葉区では、産学官・地域等と連携してまちの活性化と人材(人財)育成を進めるとともに、区民の地域への愛着や誇りを育み、地域資源を生かして交流人口や定住人口の拡大を図ります。

この方針のもと、今年度は次の4つの目標に重点的に取り組みます。

重点目標

- 1 産学官及び地域等と連携し、まちなか活性化や健康づくり、里山の魅力発信、人材(人財)育成等に向けた主体的な取り組みを進めるとともに、アキハスムプロジェクトの理念に基づき、秋葉区の特徴や魅力をブランド化し、戦略的に発信することにより、地域アイデンティティの醸成を図ります。地域主体による移住・定住促進の支援や、市民活動に取り組む新たな人材(人財)を発掘・育成することで、地域・住民主体による魅力あるまちづくりを進めます。
- 2 住民主体の地域活動の深化に向け、コミュニティ協議会と協働で地域課題の解決や地域づくりを推進します。安心安全なまちづくりのため、傾斜地が多い区の地域特性を踏まえ、土砂災害への対応力を強化することに取り組めます。
- 3 「秋葉区地域福祉計画・地域福祉活動計画」の理念を広く区民に周知・普及し、地域住民や関係機関と連携・協力することで、健康づくりや福祉課題を解決する取り組みの支援と活動を推進します。地域包括ケアシステムによる生活支援として、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、継続的な支援と仕組みづくりに取り組んでいきます。
- 4 里山の魅力発信や里山と結びつけたまちなかの活性化、次世代につながる環境教育を行います。また鉄道、花と緑、史跡など恵まれた地域資源を活かし、秋葉区の交流人口の拡大を図ります。

※重点目標における指標や取組状況は、各課組織目標をご覧ください。

評価

	重点目標の達成状況	目標数	4	達成数	4
取組結果	<p>【重点目標1】 達成状況（見込み）＝評価3（目標どおり達成）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まちなか活性化実行委員会において、昨年度コロナ禍で実施できなかった健康・自立フォーラムを各部会合同企画も交え、また学生の参加と企画展を実施しました。 ・関係人口の増加と移住促進に向けて、コワーキングスペースや移住相談窓口の設置に向けて先進地を視察するなど検討材料としました。また、移住者座談会やオンライン移住相談会を開催し、意見交換を行い移住者同士のネットワークづくりが図られました。Akiha きらきら café では、人材育成を目的に新たな参加者を募集し、女性視点による新しいスタイルのカフェトークを行い、テーマごとにまちづくりに関する自由な意見交換を実施しました。 <p>【重点目標2】 達成状況（見込み）＝評価3（目標どおり達成）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全11コミュニティ協議会で地区懇談会を実施し、各地域課題の解決に向け地域と連携し具体的な検討を行い、緊急度に応じ道路や公園等の改修、施設の設備の更新を行いました。また、各地区の人口推移を説明し、人口減少を踏まえた各コミ協別のビジョン作成を促し、意見交換を行いました。 ・土砂災害に係る避難情報の発令を想定した区災害対策本部事務局の災害対応訓練について、前期に訓練概要、シナリオを作成し、後期はそれをもとに訓練を実施しました。 <p>【重点目標3】 達成状況（見込み）＝評価3（目標どおり達成）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者等が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるまちを目指し、認知症への理解を深めるため、区だより、FM にいつ、ポスター等掲示による啓発活動を行いました。 ・つながる支援ファイルについては、支援を必要とする人やその家族を対象に新規サービス利用の相談時に配付し、活用の周知に努めました。 ・子育て講座、子育てサポーターの訪問は計画通り進めることができ、妊娠期からの子育て支援を行いました。 ・子どもを含めたフレイル予防事業、小児生活習慣病予防事業については、関係する機関と計画通り進めることができました。特に子どもを対象にしたラジオ体操は、地域と連携して新たに実施しました。また、小児生活習慣病予防事業での生活習慣に関するアンケート結果では、重要性の理解が70%を超えました。 <p>【重点目標4】 達成状況（見込み）＝評価3（目標どおりほぼ達成）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・里山魅力発信については、Akiha マウンテンプレーパークをほぼ予定通り実施することができました。感染症予防対策の取り組みや屋外事業であることへの安心感さらには指導者付き添いのアスレチックが好評でした。 ・小学生に地域資源である石油や地層に関する理解を深めてもらう「わくわく石油楽習広場」は新規の取り組みでしたが、学校への働きかけを行い、目標を上回る5校（小合、金津、結、新関、新津第一）の参加がありました。 ・秋葉「鉄道物語」事業では、新津駅東口の観光案内所を開設し、来訪者の回遊を促進しました。関係団体と連携しながら「鉄ぶら抽選会」や4年ぶりとなる「にいつまるごと鉄道フェスタ」などの開催を支援し、まちなかの活性化と交流人口の拡大につなげました。 ・アキハ花一番PR事業は、関係団体と花卉・鉢花振興の取り組みを行うとともに、市内外へ宣伝PRに努めました。また、6年ぶりに首都圏（表参道・新潟館ネスペース）での花き宣伝PRを実施しました。 				

【重点目標 1】

- ・産学官の連携を深めるとともに大学、学生と各種団体との柔軟な協働によるまちなか活性化に向けた取り組みを推進します。
- ・移住者同士の交流が図られたことから更なるネットワークづくりを進め、移住者向け相談窓口の設置とサポート体制の構築を地域活動団体と協働して取り組みます。また、Akiha きらきら café では、新たなミーティングのスタイルにより、まちづくりに関する意見交換を進め、人材育成や住民主体の活動につなげていきます。

【重点目標 2】

- ・地区懇談会や地域ビジョンの策定により、コミュニティ協議会との連携、協働による地域課題の解決や将来を見据えた地域づくりを進めるために、地域住民の主体的な地域活動を支援します。
- ・安心安全なまちづくりのため、今後とも様々な災害を想定した訓練を実施し、災害対応力を強化していきます。

【重点目標 3】

- ・「秋葉区地域福祉計画・地域福祉活動計画」の基本理念である「人がつながり ともに支え合う やさしいまち」を目指し、地域住民や関係機関と連携・協力し、秋葉区の特性を活かした、高齢者・障がい者・子育て・健康づくりなどの各支援施策・事業に取り組みます。
- ・認知症に関する講演会の開催のほか様々な啓発事業を継続し、認知症への理解が深まる機会の提供に努めます。
- ・つながる支援ファイルについては、今後も医療・保健・福祉・教育・労働など各機関のつながった支援が行えるよう、引き続き配付を継続するとともに活用方法等の周知に努めます。
- ・各種子育て支援事業やフレイル予防事業の実施など通じて、子育て支援の充実や健康づくりを進めます。

【重点目標 4】

- ・里山の魅力発信並びに次世代につながる環境教育などを行うために、里山に点在する施設や関係団体と連携し、各種事業に取り組んでいきます。
- ・「史跡」「鉄道」「花」などの地域資源を活かした各種事業に取り組み、交流人口の拡大や地域経済の活性化、賑わいのあるまちづくりを進めます。